

第2回 都市鉄道向け無線式列車制御システム（CBTC）仕様共通化検討会  
議事概要

1. 日時

令和2年6月29日（月）15:00～16:00

2. 出席者

<委員>

中村英夫座長、JR 東日本、JR 西日本、東武鉄道、西武鉄道、小田急電鉄、東急電鉄、東京地下鉄、東京都交通局、阪神電気鉄道、横浜高速鉄道、交通安全環境研究所、鉄道総合技術研究所、日本民営鉄道協会、日本鉄道電気技術協会、日本鉄道車両機械技術協会、日本鉄道運転協会、国土交通省

3. 議事

- (1) 令和元年度とりまとめ案について
- (2) 令和2年度の検討の進め方について
- (3) その他

4. 議事概要

- (1) 令和元年度とりまとめ案について
  - ・ 事前に行ったメール審議において寄せられた委員からの意見等を踏まえ修正したとりまとめ案を提示した。委員からは、とりまとめ概要に関して、検討会構成やCBTC導入効果における表現について修正意見があった。
  - ・ 検討の方向性について、CBTCの仕様共通化に向けたあり方（相互直通運転を実施する場合に配慮すべき事項など）について検討・整理すべきであるとの意見等が示された。
  - ・ 委員からの意見を踏まえ必要な修正をしたうえで、後日公表することが了承された。
- (2) 令和2年度の検討の進め方について
  - ・ とりまとめ案において、今後検討を行うこととされた内容については、資料2-2に基づき、令和2年度以降も引き続き検討を進めることが了承された。
  - ・ インターフェースの共通化の検討においては事務局で案を示した上で議論を進めることや、無線回線設計ガイドライン等の検討においては免許を受けて運用する無線局だけでなく、免許を要しない無線局の利用や将来における第5世代移動通信システム（5G）の活用も考慮した上で議論を進めること等の意見が示された。
- (3) その他
  - ・ 資料2-1-1（令和元年度とりまとめ案）及び資料2-1-2（とりまとめ案概要）については、議論段階のものであることから非公表とするが、後日、正式なとりまとめを経て公表することとされた。